



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



主日の説教

今日のみことば

復活節第2主日 A年(2023年4月16日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：使徒言行録 2章 42—47節

第二朗読：ペトロの手紙1 1章 3—9節

福音朗読：ヨハネによる福音書 20章 19—31節

「見て、信じた」から「聞いて、信じる」へ

『ヨハネによる福音書』では、「見る」と「信じる」という動詞が一組になって登場することがあります(2章23節、4章48節、6章30節、36節、40節、20章8節、25節、29a節、29b節)。そのうちイエスさまがなされた「しるし」を見て信じた例は次の通りです。

イエスは^{すぎこしさい}過越祭の間エルサレムにおられたが、そのなされたしるしを見て、多くの人がイエスの名を信じた(2章23節)。

イエスは^{やくにん}役人に、「あなたがたは、しるしや^{ふしぎ わざ}不思議な業を見なければ、決して信じない」と言われた(4章48節)。

そこで、彼らは言った。「それでは、わたしたちが見て、あなたを信じるために、あなたはどんな^{おこな}しるしを行ってくれますか。どんなことを行うのですか。」(6章30節)。

そこで、^{ほか}他の^{でし}弟子たちが、「わたしたちは^{しゆ}主を見た」と言うと、トマスは言った。「^{かた}あの方の^{くぎ}手の^{あと}跡を見、この^{ゆび}指を^{くぎあと}釘跡に入れてみなければ、また、この手をその^{ばら}わき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」(20章25節)

最後の^{かしょ}箇所は今日の福音朗読の部分です。先週の福音の箇所では「イエスが愛しておられたもう一人の弟子」(20章2節)は、何を見て信じたかがハッキリとしません。ギリシア語原文には目的語がないのです。ただ、「それから、先に^{はか}墓に^つ着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた」(20章8節)とあるだけです。なにかの「しるし」を見たわけではありません。この弟子は(弟子の^{りそうぞう}理想像を表す^{あらわ}架空の^{かくう}人物では?)、今日の福音朗読にある「見ないのに信じる人は、

「^{さいわ}幸いである」(29節)を^{さきど}先取りしていたのかもしれませんが。

そこで、29節に注目してください。トマスは他の弟子たちが復活したイエスさまに^{たいけん}会って体験したことを^き聞いても信じませんでした。「わたしたちは主を見た」(25節)と^{しょうげん}証言した「ことば」に^か耳を貸そうともしなかったのです。実際に見ること、^ふ触れることを^{のぞ}望みました。

しかし、見ることの^{むな}空しさは、イエスさま自身が^{ぞんじ}ご存知だったようです。「イエスは過越祭の間エルサレムにおられたが、そのなさったしるしを見て、多くの人イエスの名を信じた。しかし、イエス御自身は彼らを信用されなかった」(2章23-24節、4章48節も参照)。

その一方で、「ことば」によって信じることもあります。サマリアの女(4章41節参照)、^{むすこ}息子が癒えると信じて帰っていった役人(4章50節参照)などがその例でしょう。^{にくがん}肉眼でイエスさまは見えなくとも、弟子たちが証言した「ことば」によって信じていくようになる。つまり、見る人から「ことば」を聞く人へと変わっていくのが「幸い」なのです。



マリア祭のお知らせ

五月晴れの中、グラウンドで野外ミサをしましょう。

日時：5月21日 午前10時半

ミサ後、お弁当の販売があります。

ピクニック気分で、皆で楽しく過ごしましょう。

なお、その日は、8時半と9時半のミサはありません。ご注意ください。